



小合中ホームページ

『全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒』『仲間や地域を尊重し、助け合い高め合う生徒』『積極的に創造する生徒』

『全力で楽しみ、わくわくできる生徒』を実現するために

校長 古市 茂

【4/7 始業式でのエピソード】

始業式では、森山未優さん(2年生)と堀紫温さん(3年生)が抱負を述べてくれました。抱負の内容はもちろんですが、私が感銘を受けたのは発表前のちょっとした出来事でした。森山さんのマイクの位置が合っていないことに気づいた堀さんが、後ろからさりげなく近寄って、マイクの位置調整をしてくれたのです。生徒の皆さんには、いつも通りの風景だったようですが、私はとても感銘を受けました。(わくわくしました)



「当たり前、さりげない心遣いができているのだな」

『『全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒』の土台って、このような心遣いなのでは?』と感じた一幕でした。

【伸ばしたい力 つけたい力】

「全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒」を実現には、いくつかの力を伸ばす必要があります。

その中から、年度初め版として、始業式で生徒に話した3つの力を保護者や地域の皆様にも共有させてください。

「認め合い励まし合う力」を伸ばしたい

リスペクトする力とも言えます。相手と同じ目線で、相手の人格や生き方・考え方、頑張りや「尊い」と思える力です。冒頭で触れた始業式でのエピソードで発揮されたのもこの力だと思っています。春開催の体育祭も楽しみです。

「挑戦してやり抜く力」を伸ばしたい

挑戦しなければ、成長はありません。様々なことに大いに挑戦してほしいです。

挑戦することだけでも「尊い」ですが、「やり抜く」ことで、より大きな成長が期待できます。

挑戦は「チャレンジ」、やり抜く力はバレーボール日本代表の合言葉「GRIT(グリット)」としても注目されています。

「立ち直る力」を身につけたい

挑戦すれば失敗もあります。一人ひとりみんな違います。ぶつかり合うのも当たり前です。

しかし、それらの失敗や困難を乗り越え、前を向いて歩き出せることが、一番大事だと思っています。

「立ち直る力」を身に着けることで、自分と仲間の大きな前進につながります。

「レジリエンス」という言葉で、耳にすることが多くなってきています。

番外編 教職員も生徒と同様に成長したいと思っています

小合中の教職員一同、様々な面で、様々な立場から生徒をサポートします。

そして、生徒をサポートすることを通して、教職員自身も成長したいと願っています。よろしくお願いします。





「式 辞」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、これから始まる中学校生活は、皆さんが自分らしく大きく成長していく大切な三年間です。

小合中学校で大切にしている生徒像の一つに「全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒」があります。

新入生の皆さん、「わくわく」が溢れて学校生活を全力で楽しむ自分を想像してみてください。ぜひ、その姿を小合中学校で現実のものとするために、粘り強く挑戦していきましょう。

挑戦するということは失敗する可能性があります。これだけ多くの人がいれば一人ひとりが少しずつ違います。ぶつかり合うこともあるでしょう。しかし、それらの困難を乗り越える経験もまた、皆さんを成長させてくれる大切な機会です。だからこそ、どんなときも前を向き、自分なりの「わくわく」を見つけていってほしいと思います。

校歌の中に「百花繚乱」という言葉があります。

一人ひとりが、自分のわくわく、そして、みんなのわくわくの実現に挑戦する。そして、最後までやり抜くことで、百花繚乱のごとく、皆さん一人ひとりが咲き誇ることを楽しみにしています。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。かけがえのないお子様の成長を支えるパートナーとして、教職員一同、誠心誠意取り組んでまいります。よろしく願いいたします。

結びに、新入生の皆さんが、小合中学校、そして地域の中で、わくわくに満ちた充実した毎日を送り、大きく成長していくことを心より願い、式辞といたします。

(一部抜粋)

令和八年四月七日

新潟市立小合中学校校長 古市 茂



「誓いの言葉」

やわらかな春の日差しが心地よく感じられる季節となりました。

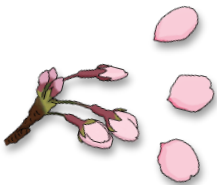
本日は、私たち新入生のために、このような立派な入学式にて門出を見守っていただき、ありがとうございます。私たち新入生23名は、6年間の小学校生活を終えて、今、新しい制服を身に着け、この伝統ある小合中学校の一員となりました。これから始まる中学校生活に、不安と緊張で胸がいっぱいです。

中学校では、小学校とは違い、授業時間が長くなったり、教科ごとに担当の先生が変わったりします。小学校ではなかった学校行事もあります。今までの環境とは大きく異なります。そんな中学校生活と新しい友達の出会いを大切に、三年間支えあいながら、協力し合って頑張りたいです。そして、先生方にご指導をいただきながら、先輩の皆さんとともに、いろいろな経験をしていきたいです。

新しい環境に対する不安な気持ちはいっぱいありますが、これからの学びの中でのやりがいや楽しみを見つけていきたいです。そして、失敗を恐れず、全力で、前向きに挑戦していきたいと思います。

最後になりますが、私たちは、今日の感動を忘れずに小合中学校の生徒としての自覚をもち、実りある中学校生活を送っていく決意です。先生方、先輩方、どうかよろしく願います。

新入生代表 ○○ ○○



「歓迎の言葉」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから新入生の皆さんと学校生活を送れることを在校生一同、心から歓迎します。

皆さんは今日、新しい制服や新しい教室などで小合中学校での生活にワクワクする気持ちと、小学校とは違う生活への不安で胸がいっぱいだと思います。自分も、小学校とは違って中学校では他校の人とも一緒に過ごすため、友達を作れるか、新しい日常についているかなどの気持ちでいっぱいだったことを覚えています。ですが、学校生活が始まると、授業や学校行事などを通して多くの人と出会い、様々な経験をする事ができます。友達と協力しても目標に向かって努力したり、時には悩んだり、経験を一つ一つ積み重ねることによって自分自身を大きく成長させることができます。

有名な歌にこんな言葉があります「いくつもの日々を越えて、辿り着いた今がある」

これは『栄光の架橋』という曲の一説です。努力した日も、上手くいかなかった日も、全てが未来に繋がっているという意味だと思います。

皆さんも小学校とは違う生活ばかりの中学で、わからないことや悩みを持つことがこれからあると思います。ですが、この学校には僕たちが温かく支えてくれる先生方や励まし合いながらともに邁進できる仲間がいます。ですので、困ったことが悩むことがあったら一人で抱え込まず、周りの人に頼ってください。必ず皆さんを支えてくれる人がいます。

また、これから始まる学校生活の中で、皆さんが失敗を恐れずに様々な物事に挑戦し、多くの経験を積み重ねていくことを願っています。僕たち在校生も皆さんと一緒に学校生活を送れることを楽しみにしています。

そして、新入生の皆さんが、この学校で充実した毎を送り、大きく成長していくことを願って、歓迎の言葉といたします

在校生代表 ○○ ○○